



東京駅前イルミネーション photo by KA

■ 今年を顧みて

顧問 高石勝巳

今年も残すところ1ヶ月となりましたが、本年は近年珍しく世界的に選挙の年といわれ欧米でもアジアでもそして日本でも重要な選挙が実施されました。



その中で最も注目を集めたのは言うまでもなくアメリカの大統領選挙です。史上稀にみる接戦と言われていましたが、結果的にはトランプ氏の圧勝、完勝に終わりました。加えて同時に行われた議会選挙でも上院・下院とも共和党が多数を占めこれで従来から優位にある連邦最高裁と併せて立法・司法・行政の三権がすべてトランプ・共和党の支配下になってしまいました。

選挙後のNHKの調査によれば日本人の60%がトランプ氏に嫌悪感をもっているとのことであり納得できるものです。政策としても地球温暖化対策をはじめいろいろ異論がありますが、私が最も危惧しているのは対台湾政策です。経済的には関税問題などで中国に厳しく対応するようですが、地政学的にはどう対応するのか予想がつきません。トランプ氏はかねてよりアメリカは「世界の警察官たりえず」として同盟国を武力で保護することには消極的です。一方、中国は「台湾を武力的に統一することを辞せず」として年々その行動を強化しています。

日本は「台湾有事は日本有事」として最近^{とみ}は頼りに南西諸島の自衛力を増強しています。武力紛争は絶対に避けなければなりません。トランプ氏の行動によっては日本もまた相当に腹をくくった行動が求められるでしょう。

日本では先の総選挙の結果政権与党が過半数を割り込むこととなりました。従来から連合や JAM

を通じて我々も応援してきた国民民主党が選挙前の衆議院議員7名から28名に一気に4倍増と躍進し、衆議院のキャスティング・ボートを握ることとなりました。昔の民社党や従前の国民民主党は政権党に摺り寄り最後はコツンとやられてスゴスゴ・・・ということも多く国民の信頼を勝ち取ることがなかなかできませんでした。

今回はそうはいきません。「手取りを増やす」<103万円の壁撤廃>という多くの共感を得た錦の御旗を高く掲げてその実現をあくまで目指す。政権与党の補完勢力などには絶対ならない・・・「ヒョルな玉木！」というところでしょうか。

安易な妥協は党首のスキャンダルと相俟って一気に支持を失うことになるでしょう。

私は10月23日の定時総会をもちまして会長を辞し、顧問につきました。

シニアクラブ結成以来副会長として会の運営に携わってきましたが2019年には前会長の菅沼さんからバトンを受け継ぎコロナ禍の渦中でしたが多くの会員の皆様からご支援を賜り何とかバトンを繋ぐことができました。ご支援、ご協力を心から感謝申し上げます。誠に有難うございました。

<付> 私の住んでいる水戸は常陸の国、常陸の国の一宮は鹿島神宮。先日(11月11日 ワン・ワン・ワン・ワン)JAM茨城シニアクラブの仲間と共に鹿島神宮をお参りし、併せて香取神宮、息栖(いきす)神社を参拝いたしました。この三社は<東国三社>と称し、この三社を巡拝することで霊巖あらたかに幸運を授かるとのことです。

私は日本の平和とJVCKWシニアクラブのますますの発展と会員皆様の健康長寿を祈念してまいりました。

<来年は巳年83歳になります>
初夢や 金も拾わず 死にもせず <漱石>

■ 11月の活動報告

11月は、8日(金)ゴルフ大会、9日(土)シニアの料理教室(ジャムづくり)、15日(金)下山静香コンサート、29日(金)円覚寺座禅&写経会と多くの行事が開催されました。尚、26日(火)Online 会合も実施されましたが、主催事務局(田代)のパソコン不調で予定したテーマを遂行できませんでした。次回にご期待ください。



11月22日(金)にはビクター寿会神奈川6支部の呼びかけによる「V9. 13顔合わせ元気かい」が開催されました。シニアクラブとしてもこの会の趣旨に賛同して参加を募りました。寿会各支部の呼びかけで参加者は66名(会社役員、トリオケンウッドOB会役員含む)となりましたがその内、20名がシニアクラブ会員でした。この会の中で、シニアクラブがかつて作成した「ビクター栄光の記録・原音探求」のDVDの再生も行われました。すでにご覧になっている方も含め、次にアクセスしてご確認ください。 <https://www.youtube.com/watch?v=pDCy3UfK00>

さらに寿会多摩支部会員でシニアクラブ会員の林良健さんから「笑顔が持つ底知れぬパワー！」～“笑いの治癒力”～をテーマに講演が行われました。




現在、林さんは様々な場面において活動されていますが、「日本笑い学会」にも所属されているとのこと。“笑顔は健康をもたらし、周りも楽しく活気づく”という内容で、ユーモア精神を養い、なにをするにも、ものごとをネガティブにとらえず常にプラス思考で考えることが大切であるとのことでした。私たちもこれを常に心がけていきたいものです。

■ 今年の重大ニュース

今年も残すところあと1ヶ月、世間では今年の重大ニュースが発表されてくることでしょう。世相をみると、事件や争い、天変地異など暗い話ばかりで明るい話を選ばれることは少ないようです。ここでは物事をネガティブにとらえず、スポーツ界での明るい話題を選んでみようと思います。


1. 世界の大会選手大活躍 50-50, MVP
 2. パリ五輪 日本選手のメダルラッシュ 金20他
 3. 車椅子テニス小田凱人グランドスラム優勝
 4. DeNA 日本一(巨人、阪神ファン歯ざりか)
 5. 大相撲若手の台頭 大の里大関昇進、琴桜優勝
- ・その他、サッカー、卓球、バスケット、ゴルフなど多くの分野で日本人選手が世界で活躍する姿が見られました。皆さんも思い出してみてください。

■ またトラ (ドナルド・トランプ氏復活)

11月5日に投開票のあった米国大統領選ではトランプ氏が勝利しました。 当初の「もしトラ」からバイデン氏相手の大統領選では「ほぼトラ」といわれるようにまでなっていた9月に民主党の大統領候補がカマラ・ハリス氏に代わり、選挙の行方は振出しに戻ったかのようでした。激しい選挙戦では政策論争よりもトランプ氏のフェイクや相手候補に対する非難中傷が繰り返されていたようです。傍目からすると、人格的に大統領にふさわしいの？と思うような場面もしばしばあったように思いますが、その演説会場では熱烈な支援者で盛り上っていました。結局アメリカの国民は「またトラ」を選んだことになりました。

新政権の人事内容も徐々に決めてきているようで世界中の国々はトランプ氏の動向に注目しています。早速、不法移民排斥や関税引き上げの話も出ており持論の「アメリカファースト」がこれから強化されていくことになるのでしょうか。選挙期間中における公約「戦争は24時間以内に終わらせる！」はどうなるのでしょうか。バランスにかけた判断で世界を困惑させてほしくはありません。

■ 兵庫県知事選 (齋藤元彦氏再選)

11月17日投開票のあった兵庫県知事選で齋藤前知事が再選されました。 県会議員全員の不信任で失職し、当初は多くの県民の不評を受けながらも選挙に臨み見事当選しました。これにはSNSの力が大きく働いたといわれています。

従来からテレビや新聞は多くの市民にとって情報源としての役割を果たしてきましたが、今回それらはオールドメディアと呼ばれ、事実を伝えながらも偏りがあり、もう一方の事実を報道していないケースがあるということを知ることとなりました。

SNSの内容は個人的な考えに基づいた一方的な発言となることが多いでしょう。しかし様々な立場の意見が発信されるので、賛否両論を知ることができます。フェイクも含まれる中、私たちは何が真実かを判断する力を持っていないかもしれません。

SNSを担当した広報会社との請負内容で「選挙違反の疑いあり」とオールドメディアは述べ立てています。真実が解明される前に一面的な事実を興味本位的に報道するのはいかがなものでしょうか。

■ 事務局から

上述の通り11月は多くの行事が実施されました。それぞれシニアクラブHPに報告があります。ご確認ください。今年もカレンダーは最後の一枚となりました。皆様よいお年をお迎えください。 事務局 田代 周